超スマート社会に向けた新たな価値創造

文部科学省研究開発局長 田中正朗氏

冒頭、文部科学省研究開発局長の田中正朗氏は「首都直下地震による被害を軽減し、速やかな復旧・復興を可能とするレジリエントな社会を創るためには、オールジャパンの体制を構築していくことが不可欠であり、これまでの学や官における取り組みに加え、企業の皆さまにもご協力いただき、様々なニーズやシーズを取り入れて研究開発を進めていくことが必要」とご挨拶しました。さらに、「自然災害に対する強靭な社会の実現が強く求められていることから、IoT、ビッグデータ、AI といった私たちの社会を大きく変革する技術を活用しながら、公的機関だけではなく、企業や住民にも付加価値の高い災害関連情報を提供し、第 5 期科学技術基本計画において重要項目に掲げられている超スマート社会（Society 5.0）に向けた新たな価値を創出していかなければならない」とご説明しました。